

# タカサニュース4月号

平成 21 年 4 月発行 第 140 号 (株)タカサ

## 妊娠と薬

1960 年代のサリドマイドの教訓以降、妊婦にとって薬の服用は大きな関心事となりました。しかし、薬を服用していない健常な妊婦の出生児であっても、およそ 1 ~ 3 % に何らかの奇形が生じることが報告されています。その原因は、“薬”に限った事ではなく、様々な要因（遺伝的・環境、など）が影響すると考えられています。

### 胎児への薬の影響

薬の胎児への影響は『薬自体の危険度』と『薬の服用時期』が問題となります。

『薬自体の危険度』はその薬固有のもので、妊婦に対して、医師はこの危険度を考慮し、安全性の高い薬を処方します。もうひとつは『薬の服用時期』です。薬を服用する時期と胎児の状態によって影響の度合いが変わってきます。特に妊娠 2 ヶ月目は注意が必要で、後期になるにつれて奇形の危険性は低くなります。

下記の表は薬を服用した時期において胎児がどのような影響を受けるかをまとめたものです。

妊娠月数	1ヶ月	2ヶ月	3~4ヶ月	5~10ヶ月
妊娠週数	0~3週	4~7週	8~15週	16~39週
服用危険度	無影響期	絶対過敏期	相対~比較過敏期	胎児毒性期
胎児の発育	細胞の増殖	器官の形成		体の成長 機能的発達
胎児への影響	基本的に薬の影響を受けません。奇形の確率は薬を服用していない妊婦と同程度です。	赤ちゃんの外形や臓器が作られる時期なので、薬の影響が一番でやすく、最も注意が必要です。	手、足の指など細かい部分が形成される時期です。奇形において引き続き注意が必要です。	ほぼ体は出来上がっているので奇形という点での心配はなくなりますが、赤ちゃんの発達に影響する場合があります。



一部の特殊な薬を除いて、多くの薬は妊娠中に服用しても危険性は低いとされていますが、やはり、薬の安易な使用は慎むべきです。また、医師より薬の使用が必要と判断されたにもかかわらず、過剰に心配し自己判断で薬の使用を拒否すると、病状を悪化・長期化させてしまう恐れがあり、かえって胎児に悪影響がでる可能性があります。

妊娠が判明した後（もしくは妊娠の可能性あり）の薬の服用は、自己判断せず、産婦人科医に相談しましょう。

また、継続して薬の服用が必要な方で妊娠を希望される場合は、事前に主治医と十分に相談して下さい。



今月の  
おすすめ



**ネイチャーメイド  
葉酸**  
150錠  
714円（税込み）

葉酸はビタミン B 群のひとつで、赤血球の形成を助けるビタミンです。赤ちゃんの正常な成長に欠かせない栄養素のひとつです。



**ネイチャーメイド  
アイアン(鉄)**  
80錠  
714円（税込み）

鉄は血液の構成物質として、体の各組織に酸素を運ぶほか、筋肉中に酸素を取り込んだり、酵素の成分となったりと、大切な働きがあります。

当薬局に  
お問い合わせ下さい。

### タカサグループ

私たちはお客様一人ひとりの心のオアシスでありたいと願っています。

処方せん調剤（全国の病院・医院の処方せんを受け付けます。）

介護用品の販売・レンタル、入浴サービス、介護計画の作成

<http://www.takasa.co.jp>